

自然再生連絡会議(西日本)に参加した協議会

陸域の自然再生協議会

| | |
|---------------|-----|
| 神於山保全活用推進協議会 | 大阪府 |
| 檜原湿原地区自然再生協議会 | 佐賀県 |
| 八幡湿原自然再生協議会 | 広島県 |
| 阿蘇草原再生協議会 | 熊本県 |
| 三方五湖自然再生協議会 | 福井県 |
| 天川村大峰山自然再生協議会 | 奈良県 |

海域の自然再生協議会

| | |
|----------------------|-----|
| 榎野川河口域・干潟 自然再生協議会 | 山口県 |
| 竹ヶ島海中公園 自然再生協議会 | 徳島県 |
| 竜串自然再生協議会 | 高知県 |
| 中海自然再生協議会 | 鳥取県 |
| 英虞湾自然再生協議会 | 三重県 |
| 羽咋海岸自然再生協議会 | 石川県 |
| 石西礁湖自然再生協議会 | 沖縄県 |

開催地と日程

開催地：熊本県熊本市
及び阿蘇山周辺

日程：

平成21年12月1日～2日

12月1日：

阿蘇草原再生協議会が
取り組む阿蘇草原の周辺を
視察

12月2日：

各協議会の取組の発表及び
情報交換



阿蘇草原再生協議会

事業対象地は「草原」



協議会の名前に「自然」が入っていない

阿蘇草原再生協議会

阿蘇は牧畜業(野焼き)により

自然と人間が共存し

草原景観や特有の動植物の生息地が維持

畜産業の衰退によって草原が荒廃

草原の衰退を食い止め、修復へ

阿蘇草原再生協議会の取組(野焼き)

草原維持のため、野焼き作業を実施
観光の一環として野焼き作業にボランティア参加
(平成20年度は延べ2000名)



野焼き作業自体が**観光資源**として認知されつつある
自然再生が観光業にも貢献

阿蘇草原再生協議会事業地(米塚)



登山者とバイクの踏圧により衰退した
採草地の植生を復元

阿蘇草原再生協議会事業地(池ノ窪)



意見交換会

- ・各協議会とも
活動資金確保に苦労



- ・阿蘇草原再生協議会の
「毎年、委員の取組みを提出してもらい優秀な取組みは
協議会から奨励賞を与える」という取組みが注目

- ・サンゴ礁生態系の再生を目指す竜串(高知県)でも陸域
からの負荷の軽減は課題